

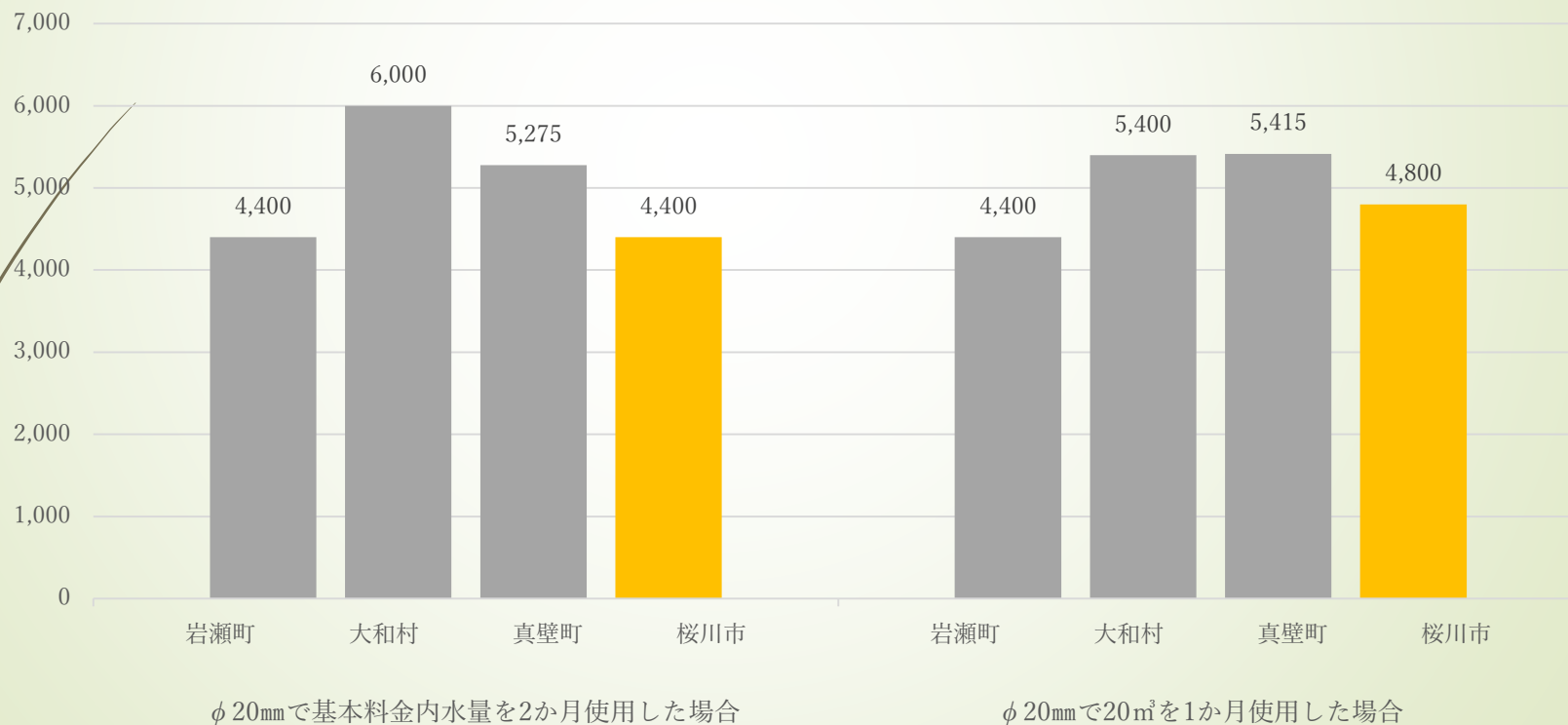
桜川市水道事業の料金 変遷と経営状況

1

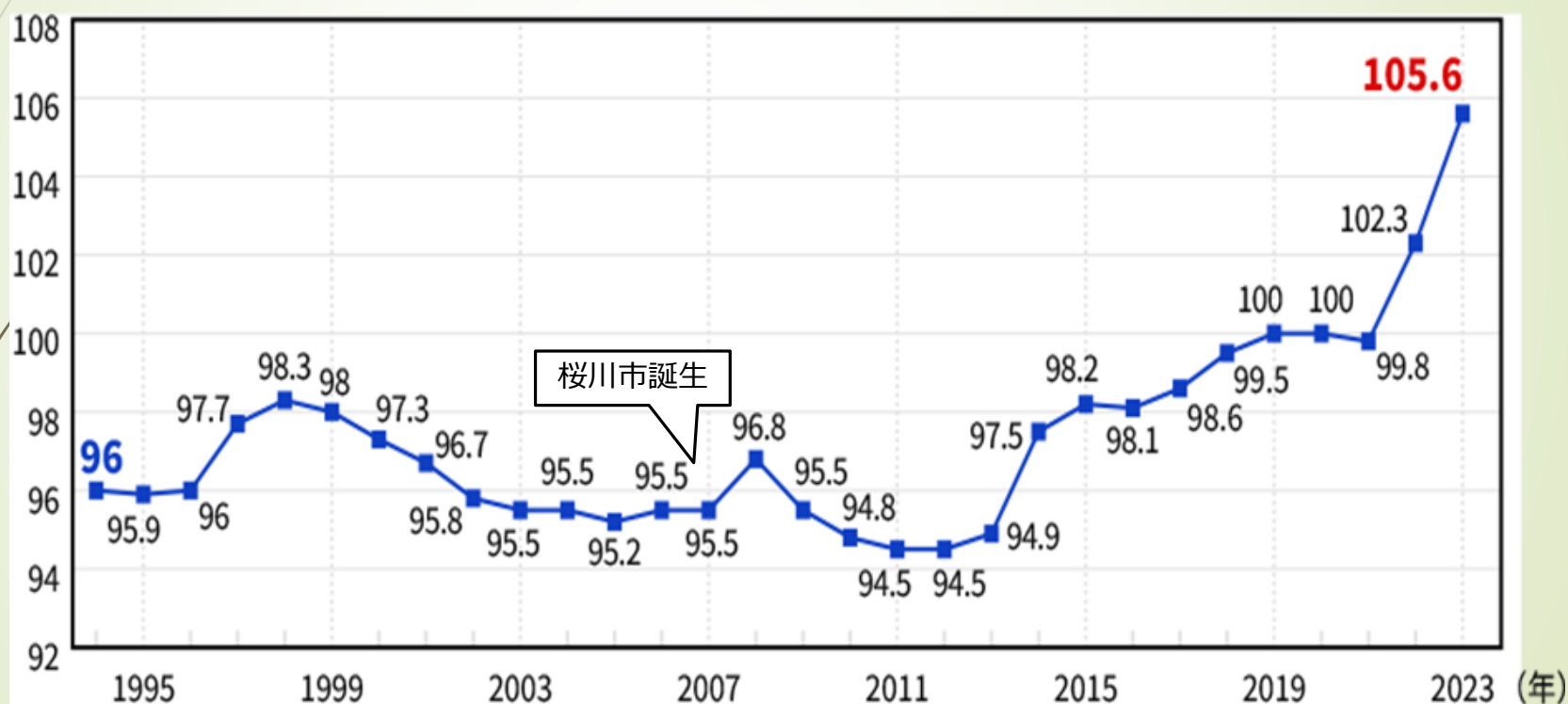
令和6年（2024年）10月17日

桜川市水道事業審議会資料

桜川市水道事業水道料金の推移について 桜川市水道料金（税抜）メーター使用料を含む



約30年間の日本の消費者物価指数 (総合指数) の推移



総務省『消費者物価指数（総合指数・2020年基準の時系列データ）』を
もとに作成

一般会計との違い

会計区分	
一般会計	市税や国からの補助金などの収入を配分し、教育・福祉、道路・公園の整備など、主に市の基本的な行政サービスを行う会計
公営企業会計	事業収入を主な財源として、 独立採算の原則 により特定の事業を経理する会計（水道事業など）

水道事業・下水道事業会計のしくみ(図解)

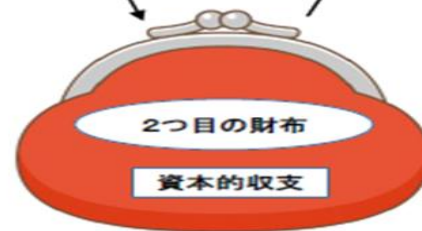
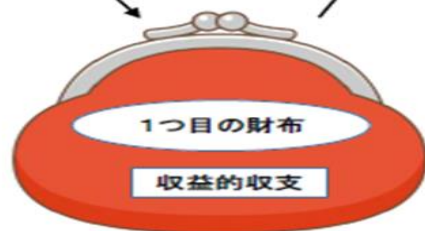
《収益的収支(3条予算)》

収入(収益)	支出(費用)
水道料金 下水道使用料 一般会計繰入金 その他収入	支払利息 消費税 人件費 動力費 修繕費 その他支出

*減価償却費

《資本的収支(4条予算)》

収入	支出
借入金(企業債等) 国県補助金 下水道受益者負担金 その他収入	建設改良費 元金償還金 人件費 その他支出



*減価償却費は、非現金科目となるため、補填財源となります

令和5年度桜川市水道事業損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1. 営業収益			
(1) 給水収益	718,050,537		
(2) 受託工事収益	0		
(3) その他の営業収益	28,719,655	746,770,192	
2. 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	401,972,671		
(2) 配水及び給水費	132,262,234		
(3) 受託工事費	0		
(4) 総係費	105,143,365		
(5) 減価償却費	214,306,452		
(6) 資産減耗費	3,881,254		
(7) その他営業費用	0	857,565,976	
営業損失			110,795,784
3. 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	3,626		
(2) 他会計補助金	200,202,000		
(3) 県補助金	1,950,000		
(4) 長期前受金戻入	67,232,845		
(5) 雑収益	1,211,809	270,600,280	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取組費	20,157,717		
(2) 受託工事費	0		
(3) 雑支出	286,016	20,443,733	250,156,547
経常利益			139,360,763
5. 特別利益			
(1) 固定資産売却益	0		
(2) 過年度損益修正益	0	0	
6. 特別損失			
(1) 固定資産売却損	28,909		
(2) 過年度損益修正損	845,600		
(3) その他特別損失	4,959,920	5,834,429	△ 5,834,429
当年度純利益			133,526,334
前年度繰越欠損金			107,989,725
当年度未処分利益剰余金			25,536,609

本業でどれだけ収益があったか示しています

本業でどれだけ費用がかかったか示しています

本業でどれだけ利益（損失）があったか示しています

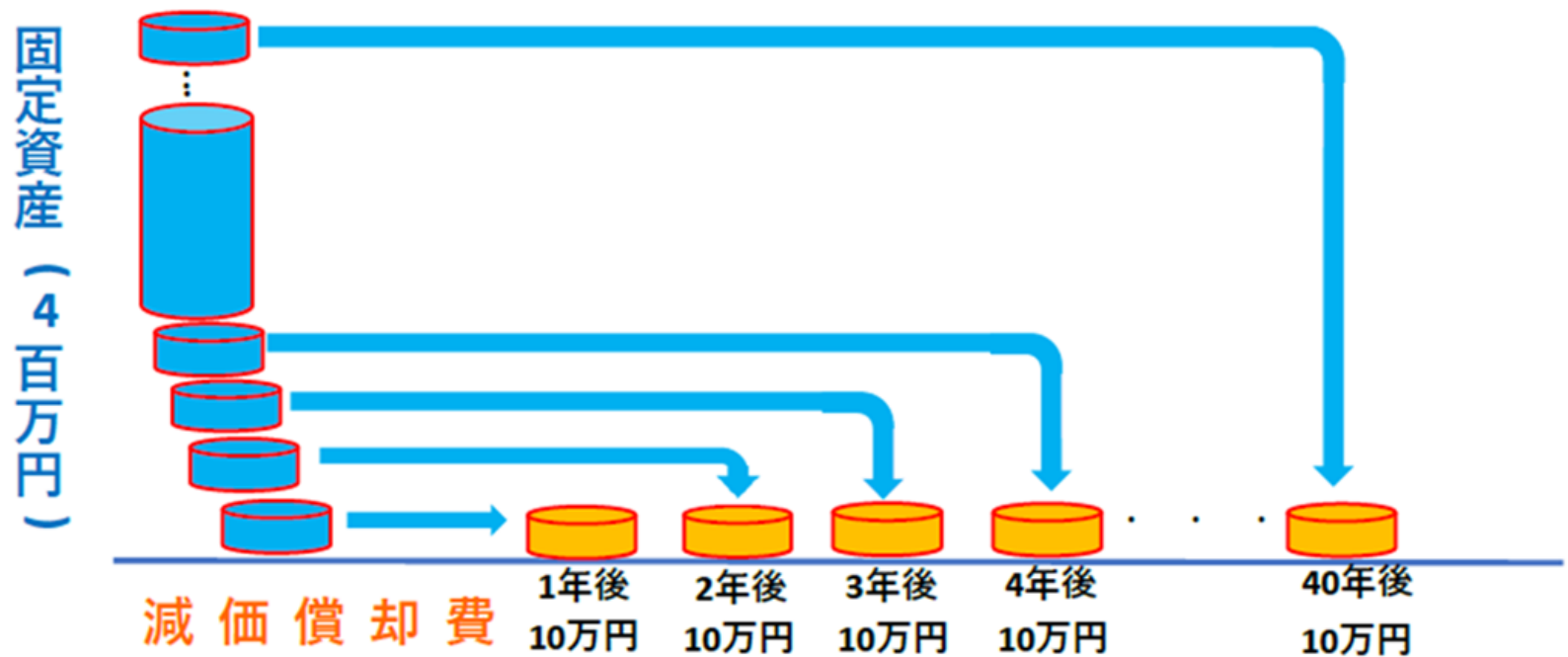
本業以外でどれだけ収益があったか示しています

通常の業務活動に加えて、資金調達等に関する損益の結果を表すのが経常利益（損失）です

1年間すべての損益の結果を表すのが当年度純利益（損失）です

減価償却費

40年使える水道管を400万円で建設して、1年で10万円ずつ減価償却すると・・・



令和5年度桜川市水道事業貸借対照表

(令和6年3月31日)

資 産 の 部

1. 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ. 土 地	55,247,987	
ロ. 建物	202,983,914	
減価償却累計額	<u>△ 118,687,120</u>	84,296,794
ハ. 構築物	10,620,790,559	
減価償却累計額	<u>△ 6,493,632,557</u>	4,127,158,002
ニ. 機械及び装置	2,300,900,673	
減価償却累計額	<u>△ 2,016,070,673</u>	284,830,000
ホ. 車両及び運搬具	15,334,532	
減価償却累計額	<u>△ 2,478,424</u>	12,856,108
ヘ. 工具器具及び備品	13,444,033	
減価償却累計額	<u>△ 10,839,250</u>	2,604,783
ト. 建設仮勘定	18,784,000	
有形固定資産合計		4,585,777,674

各資産の取得にかかった費用

減価償却費累計額を
引いた金額が今ある
資産の価値です

(2) 無形固定資産

イ. 電話加入権	2,195,600	
無形固定資産合計		2,195,600
固定資産合計		4,587,973,274

2. 流 動 資 産

(1) 現金預金	286,880,723	
(2) 未収金	167,351,661	
貸倒引当金	<u>△ 1,321,000</u>	166,030,661
(3) 貯蔵品		319,180
(4) 前払金		0
(5) その他流動資産		0
流動資産合計		453,230,564
資産合計		5,041,203,838

運営するための
固定資産や将来
使用する現金な
どの資産

負 債 の 部

3. 固定負債		
(1) 企業債	1,271,629,576	
固定負債合計		1,271,629,576
4. 流動負債		
(1) 一時借入金	0	
(2) 未払金	111,161,691	
(3) 引当金		
イ. 賞与引当金	7,286,000	
引当金合計		7,286,000
(4) 前受金	0	
(5) その他流動負債	0	
(6) 企業債	125,396,597	
流動負債合計		243,844,288
5. 繰延収益		
(1) 長期前受金	4,013,294,827	
長期前受金収益化累計額	<u>△ 2,594,002,287</u>	
繰延収益合計		1,419,292,540
負債合計		2,934,756,404

資 本 の 部

6. 資本金		
(1) 自己資本金		
イ. 固有資本金	52,363,003	
ロ. 出資金	1,024,016,973	
ハ. 組入資本金	317,600,000	
ニ. 繰入資本金	544,545,471	
自己資本金合計		1,938,525,447
資本合計		1,938,525,447
7. 剰余金		
(1) 資本剰余金		
イ. 受贈財産評価額	142,385,378	
ロ. 国庫補助金	0	
ハ. 県補助金	0	
ニ. 社会計補助金	0	
ホ. 社会計負担金	0	
ヘ. 工事負担金	0	
ト. その他資本剰余金	0	
資本剰余金合計		142,385,378
(2) 利益剰余金		
イ. 減価積立金	0	
ロ. 利益積立金	0	
ハ. 建設改良積立金	0	
ニ. 当年度未処分利益剰余金	25,536,609	
ホ. その他未処分利益剰余金	0	
利益剰余金合計		25,536,609
剰余金合計		167,921,987
資本合計		2,106,447,434
負債資本合計		5,041,203,838

将来世代の負担

過去または現世代の負担

令和5年度桜川市水道事業会計キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	133,526,334
減価償却費	214,306,452
資産減耗費	1,936,842
固定資産売却損	28,909
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,977,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 19,000
長期前受金戻入額	△ 67,232,845
受取利息及び受取配当金	△ 3,626
支払利息	20,157,717
未収金の増減額(△は増加)	△ 9,577,083
未払金の増減額(△は減少)	△ 8,914,549
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,794,702
その他流動資産の増減額(△は増加)	4,790,003
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 1,000,000
小計	293,770,856
利息及び配当金の受取額	3,626
利息の支払額	△ 20,157,717
業務活動によるキャッシュ・フロー	273,616,765
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 171,665,420
有形固定資産の売却による収入	9,091
無形固定資産の取得による支出	0
無形固定資産の売却による収入	0
国庫補助金等による収入	0
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	6,568,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 165,087,564
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入れによる収入	0
一時借入金の返済による支出	0
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	112,100,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 131,374,146
その他の企業債による収入	0
その他の企業債の償還による支出	0
他会計からの出資による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,274,146
資金に係る換算差額	0
資金増加額(又は減少額)	89,255,055
資金期首残高	197,625,668
資金期末残高	286,880,723

「業務活動によるキャッシュ・フロー」は、水道事業本来の営業活動で資金を稼いでいるかを表しています。結果がプラスなら良好ですが、補助金を投入している点に注意が必要です。

投資活動によるキャッシュフローでは、「固定資産の取得など、将来の設備投資にどれくらいの資金を支出したか」を表すものです。主に資本的収支(2つ目の財布)の内容が計上されています。多くの水道施設が多額の更新費用を必要とするから、投資活動によるキャッシュフローは通常マイナスになります。

財務活動によるキャッシュフローでは「業務活動・投資活動の維持のためにどれくらいの資金を調達・返済したか」を表すものです。

CFが+-の場合、一般的には良好な経営状態と言われますが、収益的収支に補助金を投入している点に注意が必要です。補助金を投入せず自力(料金収入)でこのようなCFになるのが理想的です。

給水原価と供給単価

給水原価 **315.6円/m³**

経常費用（営業費用+営業外費用）－長期前受金戻入

年間総有収水量

水道水1m³当たりの製造原価。

供給単価 **279.5円/m³**

給水収益

年間総有収水量

水道水1m³当たりの販売単価。

一般会計繰入金の推移 (企業債償還及び赤字補填目的のみ)

